

平日夜間



2次試験合格に必要なノウハウを短期間で効率的に修得する、平日夜間の2次対策総合コース!!!!

マスターコース A

2次試験初学者 学習経験者向け

コースNo.17-221

講座回数： 全30日間（模擬試験4回含む）
教 材： 事例問題（36事例（模擬試験4回分含む））、財務応用計算問題（14回×2問）、基本学習テキスト、基本知識確認問題集、本試験問題集（平成13～28年度分）
日 程： 平成29年1月5日（木）～平成29年9月16日（土）
時 間： Step1～3= 18:30～21:30（5/13および5/14は9:50～15:45）
Step4= 19:10～21:30 模擬試験= 9:50～17:10
教 室： 主にお茶の水教室（ちよだプラットフォームスクエア）
受 講 料： 模擬試験（4回分）を除く場合=177,660円、模擬試験（4回分）を含む場合=229,500円（分割による自動送金もできます。模擬試験を除く場合183,060円、模擬試験を含む場合234,900円）（模擬試験を除いてお申し込みした場合でも、後日、模擬試験を追加で申し込むことができます。）

2016年度MMC受講生は、基本学習テキスト、基本知識確認テスト、本試験問題集を除いてお申込みできます。テキスト類を除いた場合の受講料は以下の金額です。
模擬試験（4回分）を除く場合=169,020円、模擬試験（4回分）を含む場合=220,860円（分割による自動送金もできます。模擬試験を除く場合174,420円、模擬試験を含む場合226,260円）

36事例

14回×2問

充実した事例問題数』、財務の応用計算問題』で得点力をUP!!

特長
1



充実した事例問題数（全36事例）事例演習（2事例）・模擬試験（16事例）に取り組み、事例の分析力、解答の記述力を高め、本試験での対応力を強化していきます。

財務事例の応用計算問題（全14回×2問）難易度の高まる財務事例に対応するため、Step2～4では、財務・会計に関する応用計算問題に取り組みます。難易度は、平成26年度事例の第2問・第3問や、平成27年度事例の第3問のレベルの問題を出題します。平日コースは、講座終了時に配布し、自宅で取り組んでいただきます。

答案は、個別アドバイス付で返却!!

特長
2



模擬試験の後は、個別面談で学習方針をCheck!!

講座で行われた事例問題の答案（STEP2～STEP4）は、次回の講座時に、個別にアドバイスをしながら返却します。答案は全て受講生の学習進捗度に合わせ、個別に添削を行います。親身で丁寧な添削と個別アドバイスで、着実に実力を高めていきます。

模擬試験後は個別面談を行い、今回できたことと次回の課題、学習方法・学習方針などを講師と確認します。事例演習の成績は、事例毎に土日コース・平日コース合同の成績分布表及び講評を配布します。また、毎回、各教室で得点か番の答案のコピーを配布しますので、解答例だけでなく優秀答案から得点アップのコツを学ぶこともできます。講座には毎回複数の講師が参加しますので、遠慮なく質問・相談ができます。

採点者の視点で答案を分析する、合格答案研究講座!! Step3

特長
3

講座当日に取り組んだ事例の答案について、講座に出席した受講生全員の答案をコピーして全員に配布し、合格答案と思われる答案を選びその特長を分析します。合格に必要な要素やポイント、合格のためにしてはいけないポイントなどをグループで研究していきます。

財務事例を強化!! 難易度の高い事例の対応力をUP!! Step4

特長
4

毎年のように苦戦を強いられる「財務・会計の事例」について、Step4では事例問題数を充実することで、本試験における得点力と対応力を高めていきます。財務・会計事例の実力を更に強化し高めていきたい受験生のためにGW期間と2次試験直前期間（9月）に財務事例特訓講座（オプション）を準備しています。



事例は全て再答案添削付き。(再答案添削は無料です)

特長
5

合格答案・高得点答案を安定的に作成する力を身につけるためには、講座内で取り組んだ事例を再度深く掘り下げて高品質な答案を作る「再答案学習」が有効です。MMCでは、受講生が作成した再答案を添削し、答案作成力の強化を応援しています。（再答案は、各Stepの答練と模擬試験が対象で、インターネットにて提出いただきます（再答案は各事例1回限りです）。）

【学習の目的とステップ】

マスターコースAでは、次のステップで学習をすすめ、2次試験合格を目指していきます。



	講座内容	平日夜間コース	▼1日の流れ(予定)▼
STEP 1	■ 2次試験完全合格の学習方法、事例解法の技術と診断技術 ・中小企業診断士2次試験に求められる能力と2次合格に向けた学習スタンス ・診断の技術・理論と事例問題解法の技術、問題文の読み方・分析の仕方と合格答案の書き方(ほか)	1月5日(木) 注3	事例問題を使用しながら、診断の技術、事例の解き方を講義します。
	■ 本試験研究&事例解法に必要な実践的知識①：マーケティング・流通 ・マーケティング・流通事例の出題傾向と学習方法、事例解法に必要な専門知識	1月11日(水)	—Step 1— 18:30~21:30 講義 講義は本試験問題を利用しながら出題の傾向と対策を詳細に解説します。事例解法の基本技術とそれに必要な重要知識を学習します。
	■ 本試験研究&事例解法に必要な実践的知識②：生産・技術 ・生産・技術の出題傾向と学習方法、事例解法に必要な専門知識	1月18日(水)	
	■ 本試験研究&事例解法に必要な実践的知識③：組織・人事 ・組織事例の出題傾向と学習方法、事例解法に必要な専門知識	1月25日(水)	
■ 本試験研究&事例解法に必要な実践的知識④：財務・会計 ・財務事例の出題傾向と学習方法、事例解法に必要な専門知識	2月1日(水)		
STEP 2	■ 基本答練①：マーケティング・流通 ・事例答練(80分)+解説(85分)：経営戦略、品揃戦略、プロモーション戦略等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	2月8日(水)	—Step 2— 18:30~19:50 事例答練(1事例) 20:05~21:30 解説 解説では合格点(60点)レベルの事例文の読み方・書き方について講義します。 ※添削答案は、次回講座時にアドバイスをしながら返却します。
	■ 基本答練②：生産・技術 ・事例答練(80分)+解説(85分)：SWOT分析、生産計画、作業管理、情報管理等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	2月15日(水)	
	■ 基本答練③：組織・人事 ・事例答練(80分)+解説(85分)：環境分析、事業展開、組織構造、人的資源管理等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	2月22日(水)	
	■ 基本答練④：財務・会計 ・事例答練(80分)+解説(85分)：経営分析、CVP分析、セグメント別損益計算等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	3月1日(水)	
	■ 第1回 模擬試験(4事例) (3/19以降に模試の結果を踏まえた個別アドバイス)	3月11日(土)	
STEP 3	■ 応用答練①：マーケティング・流通 ・事例答練(80分)+解説(85分)：経営戦略、データ分析、品揃戦略、プロモーション戦略等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	3月22日(水)	—Step 3— 18:30~19:50 事例答練(1事例) 20:05~21:30 解説 解説では高得点(80点レベル)の事例文の分析方法・高品質な答案の書き方等について講義します。 ※添削答案は、次回講座時にアドバイスをしながら返却します。
	■ 応用答練②：生産・技術 ・事例答練(80分)+解説(85分)：SWOT分析、営業戦略、作業管理、情報管理等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	3月29日(水)	
	■ 応用答練③：組織・人事 ・事例答練(80分)+解説(85分)：環境分析、事業展開、組織対策、人事制度等について出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	4月5日(水)	
	■ 応用答練④：財務・会計 ・事例答練(80分)+解説(85分)：キャッシュフロー、投資の経済性計算等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)	4月12日(水)	
	■ 合格答案徹底研究講座(高得点答案の特長を徹底研究) ・受講生全員の答案を配布し、グループで優秀答案の選定と高得点答案の特長を研究し、合格答案作成の技術を学ぶ。	5/13(土)又は5/14(日) 注1	
STEP 4	■ 第2回 模擬試験(4事例) (5/28以降に模試の結果を踏まえた個別アドバイス)	5月20日(土)	—Step 4— 19:10~20:30 事例答練(1事例) 20:45~21:30 解説 解説では合格点・高得点を取るための重要ポイントを講義します。 ※添削答案は、次回講座時にアドバイスをしながら返却します。
	■ 事例答練及び解説①②：マーケティング・流通 ×2題 (5/10=1事例、5/17=1事例) ・事例答練(80分)+解説(45分)：品揃戦略、プロモーション戦略、データ分析、共同事業等を出題(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は5/17に配布します。	5月10日(水) 注2	
	■ 事例答練及び解説③④：組織・人事 ×2題 (5/31=1事例、6/7=1事例) ・事例答練(80分)+解説(45分)：環境分析、戦略的事業展開、組織体制、人事制度、モラル、等を出題(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は6/7に配布します。	5月17日(水) 注2	
	■ 事例答練及び解説⑤⑥：生産・技術 ×2題 (6/14=1事例、6/21=1事例) ・事例答練(80分)+解説(45分)：SWOT分析、設計・技術、作業管理、設備管理等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は6/21に配布します。	5月31日(水)	
	■ 事例答練及び解説⑦⑧：財務・会計 ×2題 (6/28=1事例、7/5=1事例) ・事例答練(80分)+解説(45分)：経営分析、CVP分析、CF、投資経済性計算、期待値等を中心に出题(予定) ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/5に配布します。	6月7日(水)	
	■ 事例答練及び解説⑨⑩：財務・会計 ×2題 (7/11=1事例、7/13=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/13に配布します。	6月14日(水)	
	■ 事例答練及び解説⑪⑫：財務・会計 ×2題 (7/18=1事例、7/20=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/20に配布します。	6月21日(水)	
	■ 事例答練及び解説⑬⑭：財務・会計 ×2題 (7/18=1事例、7/20=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/20に配布します。	6月28日(水)	
	■ 事例答練及び解説⑮⑯：財務・会計 ×2題 (7/18=1事例、7/20=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/20に配布します。	7月5日(水)	
	■ 事例答練及び解説⑰⑱：財務・会計 ×2題 (7/18=1事例、7/20=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/20に配布します。	7月11日(火) 注3	
■ 事例答練及び解説⑲⑳：財務・会計 ×2題 (7/18=1事例、7/20=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/20に配布します。	7月13日(木) 注3		
■ 事例答練及び解説㉑㉒：財務・会計 ×2題 (7/18=1事例、7/20=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/20に配布します。	7月18日(火) 注3		
■ 事例答練及び解説㉓㉔：財務・会計 ×2題 (7/18=1事例、7/20=1事例) ・事例は学習の進捗状況に合わせた本試験同等レベルの応用問題を出題 ・財務の応用計算問題(自宅学習)→問題は7/20に配布します。	7月20日(木) 注3		
■ 第3回 模擬試験(4事例) (8/20以降に模試の結果を踏まえた個別アドバイス)	8月12日(土)	模擬試験は本試験同様のスケジュールで実施します。	
■ 第4回 模擬試験(4事例) (9/24以降に模試の結果を踏まえた個別アドバイス)	9/16(土)又は9/17(日)		

- 上記スケジュールは、1次試験8/5、8/6及び2次試験10/22を想定した予定です。本試験の日程によっては変更する場合もございます。
- 講義は、土曜日・日曜日又は平日に振り替えて受講することができます(但し最大6日程度。なお、第1~3回模擬試験の他曜日への振り替えはありません)。
- 欠席の場合は、Web動画によるポイント解説および添削指導による個別フォローを行います。
- 答案(再答案含)の提出には締め切りがあります。Step2→5/8、Step3→6/19、Step4→7/18、Step4(財務強化事例)→8/21、本試験問題(24~28年のみ)→7/3、いずれも17:00迄の提出(マイページからのアップロード)になります。再答案および本試験問題(24~28年のみ)は、学習ガイドブックを参考に取組んだものを提出いただきます。
- 講座内で行う答案のアドバイスの返却は、講座開始前、または休憩時間、講座終了後に行います。一人あたり5~10分を予定しています。
- 注1→5/13または5/14の何れかに出席いただけます(希望は講座1週間前に確認します)。注2→スケジュールの都合で第2回模試より先行します。注3→曜日が異なります。